

平成28年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 人間科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章は、世界をひとつの村にたとえ、人種、経済状態、宗教などの差異に関する比率をそのままにして、人口規模だけを 100 人に縮小して説明しています。あなたが村人全員の幸福を考えなければならない立場の村長だとして、この村の最優先課題をどう認識し、それをどのように解決しようとするか。あなたの考えを 1000 字以上、1200 字以内で述べなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(池田香代子 (再話), C. ダグラス・ラミス (対訳), 『世界がもし 100 人の村だったら』,
マガジンハウス, 2001 年, 抜粋・一部改変)

平成28年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 人間科学科

出題の意図

人間科学科では、人間は何のために生き、どのような社会をどのように築き、そしてどこに向かおうとしていくのか、その根源的な問いを考えていくことを目標にしている。人間科学科の各専攻課程がアドミッション・ポリシーで求めている諸能力のうち、特に、理解力、考察力、理論的思考力、記述力等を総合的に小論文によって判断する。

用いた資料では、世界をひとつの村にたとえ、人種、経済状態、宗教などの差異に関する比率はそのままに、人口だけを100人に縮小して説明している。世界の人々の多様性と格差を理解した上で、相互理解や相互受容を考えさせる内容となっている。また、複眼的な現象理解と、課題抽出能力、課題解決に向けた発想力、論理的思考力等を問う課題となっている。本文の趣旨を踏まえた上で、解決すべき優先課題について、論述出来る能力が求められる。